

株式会社オールアバウト 2008年3月期(2007年度) 決算説明会

Copyright © All About, Inc. All rights reserved.

2008年5月2日

当資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点での当 社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありま せん。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく 異なる可能性があることをご承知おきください。

2008年3月期 決算ハイライト(連結)

【決算ハイライト】2008年3月期サマリ



- ・あるじゃん事業開始およびKI&Company社の連結により売上高は前年比132%となる4,674百万円、営業利益は前年比19%となる71百万円
- ・出版事業の開始により原価構造が大きく変化

・KI社については、2007年度末での事業撤退を判断。 撤退損等を計上した結果、当期純損失は847百万円

【決算ハイライト】2008年3月期損益計算書

All About

- ・あるじゃん事業の開始およびKI社の連結により、売上高は前年比132.1%の4,674 百万円、営業利益は同18.6%の71百万円となった。また、これら出版事業の 開始により原価構造が大幅に変化した
- 事業撤退を決めたKI社を除くと、売上高は前年同期比125.4%の4,436百万円、営業利益は同54.4%となる208百万円であった(単位:百万円)

| | 2008年3月期 | 2007年3月期 | 増減率 | (参考)KI除き |
|------------|----------|----------|--------|----------|
| 売上高 | 4,674 | 3,537 | 32.1% | 4,436 |
| 売上原価 | 859 | 238 | 260.1% | 689 |
| 売上総利益 | 3,814 | 3,298 | 15.6% | 3,746 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,742 | 2,914 | 28.4% | 3,538 |
| 営業損益 | 71 | 384 | △81.4% | 208 |
| 経常損益 | 84 | 387 | △78.3% | 223 |
| 純損益 | -847 | 433 | _ | _ |
| | | | | |
| 原価率 | 18.4% | 6.7% | +11.7 | 15.5% |
| 営業利益率 | 1.5% | 10.9% | -9.4 | 4.7% |

【決算ハイライト】特別損失と法人税等調整額の状況



・KI社事業撤退に伴う撤退損650百万円を含む特別損失788百万円および繰延税金 資産の減少による法人税等調整額130百万円等を計上した結果、当期純損失は 847百万円となった

(単位:百万円)

| 固定資産除却損 | 3 | |
|--------------|-----|--------------------------|
| 投資有価証券評価損 | 15 | |
| 減損損失 | 116 | 損失事業・縮小サービスに対する 評価損 |
| 事業撤退損 | 650 | KI社のれん評価損及び事業撤退 に伴う費用 |
| その他 | 2 | |
| 合計 | 788 | |
| | | |
| 法人税、住民税及び事業税 | 12 | |
| 法人税等調整額 | 130 | 繰延税金資産の減少による |
| | · | |

【決算ハイライト】第4四半期 損益計算書



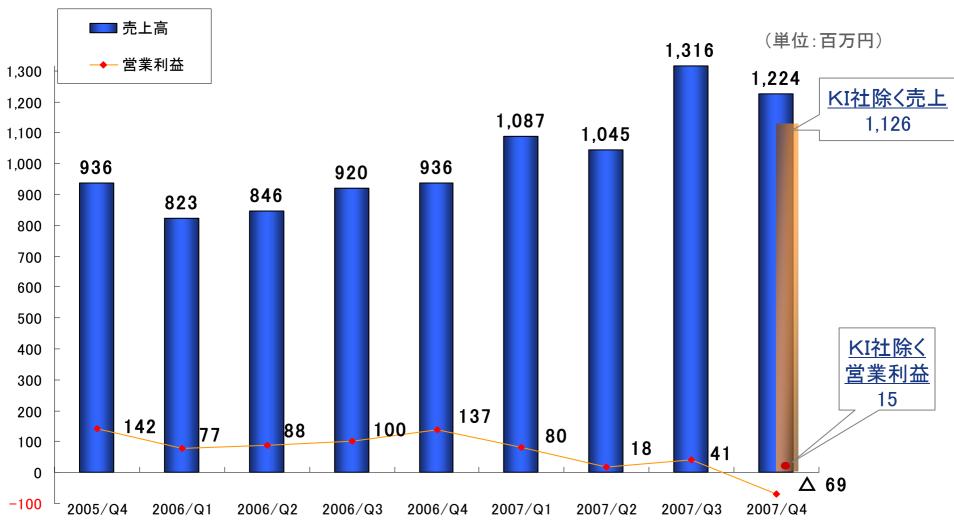
- ・第4四半期については、KI社の連結により売上高が前年比129.6%の1,224百万円となる一方、KI社赤字の影響により、営業利益が△69百万円となった
- ・なお、KI社の影響を除くと、売上高は前年比119.2%の1,126百万円、営業利益は前年比11.7%の15百万円であった (単位:百万円)

| | 2007Q4 | 2006Q4 | 増減率 | (参考)KI除き |
|------------|--------|--------|---------|----------|
| 売上高 | 1,224 | 945 | 29.6% | 1,126 |
| 売上原価 | 271 | 59 | 356.8% | 187 |
| 売上総利益 | 953 | 885 | 7.6% | 938 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,022 | 757 | 35.0% | 923 |
| 営業損益 | -69 | 128 | -153.9% | 15 |
| 経常損益 | -66 | 130 | -150.7% | _ |
| 純損益 | -920 | 243 | -478.6% | _ |
| | | | | |
| 原価率 | 22.2% | 6.3% | 15.9% | 16.7% |
| 営業利益率 | -5.6% | 13.6% | -19.2% | 1.3% |

【決算ハイライト】売上・営業損益推移

All About

・Q4は69百万円の損失計上となった。KI社を除くと15百万円の利益計上となる



【セグメント情報】セグメント別売上高構成と営業利益

All About

・主力であるインターネット広告事業が対前年度比92.0%となる一方、出版事業の取得により、合計では対前年度比132.1%となった

(単位:百万円)

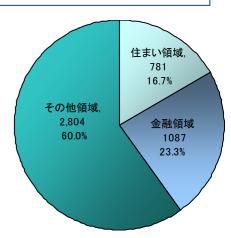
| セグメント | インター ネット広告 事業 | 出版事業 | | その他 事業 | 消却また は全社 | |
|----------|---------------------|------|------|----------------------------------|-------------|--------|
| <i>→</i> | •広告掲載 料 | •ある | 121 | ・ショッヒ [°] ン ク゛・フ゜ロファ | ・新規事業コスト | 合計 |
| 主な内容 | •編集型広 告 | じゃん | •KI | イル •AAFS | •本社経費 | |
| 売上 | 3,100 | 938 | 248 | 391 | △ 5 | 4,674 |
| (対前年比) | 92.0% | _ | _ | 236.7% | | 132.1% |
| 営業利益 | 1,066 | 57 | △114 | △ 75 | △862 | 71 |
| 営業利益率 | 34.4% | 6.1% | _ | _ | _ | 1.5% |

その他 事業 391 8.3% インター ネット 広告事業 3,100

セグメント別売上構成

領域別構成

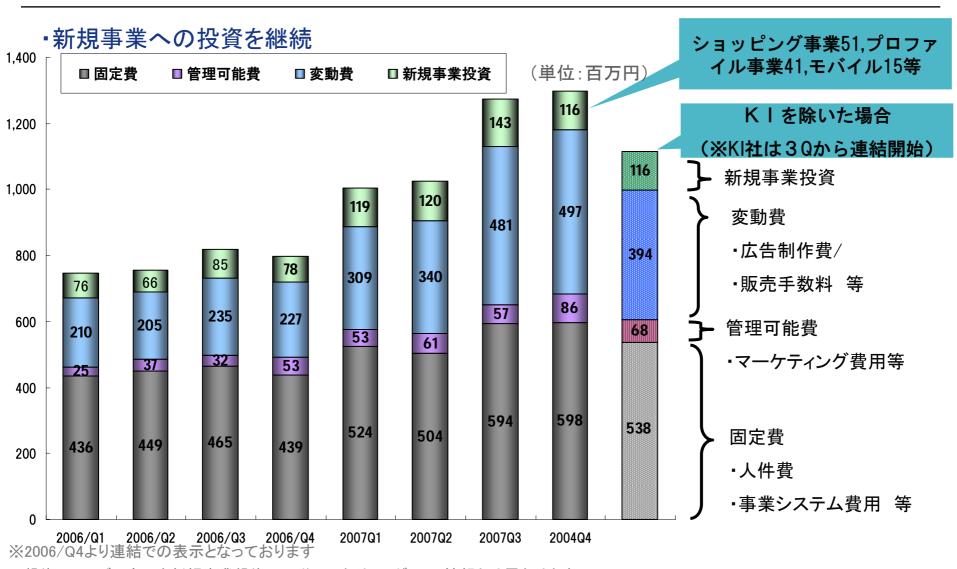
66.3%



※AAFS:オールアバウトフィナンシャルサービス株式会社

【決算ハイライト】営業費用明細推移



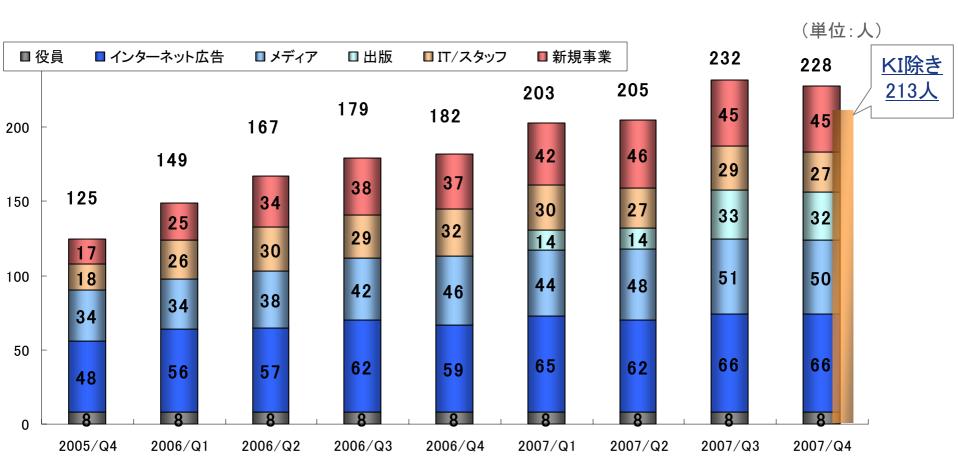


※投資フェーズのものを新規事業投資に区分しており、セグメント情報とは異なります。

【決算ハイライト】役職員数推移



・期を通じてほぼ計画通りの採用を実施。KI社除きでは213人となった



※連結べ一スでの役職員数を表示しております

【決算ハイライト】2008年3月期末 貸借対照表



| | | | ~ ~ | (単位:百万円) |
|---------|----------|----------|------|--------------|
| | 2008年3月末 | 2007年3月末 | 差異 | 主な増減内容 |
| (資産の部) | | | | |
| 流動資産 | 3,540 | 3,972 | △432 | 現預金減△485ほか |
| 固定資産 | 574 | 521 | 53 | のれん増ほか |
| 資産合計 | 4,114 | 4,494 | △379 | |
| | | | | |
| (負債の部) | | | | |
| 流動負債 | 848 | 438 | 409 | 未払費用増ほか |
| 固定負債 | 19 | _ | 19 | KI社における長期借入金 |
| 負債合計 | 867 | 438 | 428 | |
| | | | | |
| (純資産の部) | | | | |
| 資本金 | 1,160 | 1,140 | 19 | |
| 資本剰余金 | 1,815 | 1,795 | 19 | |
| 利益剰余金 | 271 | 1,119 | △847 | |
| 純資産合計 | 3,247 | 4,055 | △807 | |

【決算ハイライト】キャッシュフロ一計算書



| | 08年3月期 | (単位:百万円) |
|------------------|--------|-----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 236 | |
| 税金等調整前当期準損失 | △704 | |
| 事業撤退による損失 | 650 | |
| 減価償却費 | 189 | |
| 減損損失 | 116 | |
| その他 | △15 | |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △739 | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △30 | |
| 無形固定資産の取得による支出 | △116 | |
| 事業の譲受けによる支出 | △231 | あるじゃん事業 |
| 貸付による支出 | △370 | KI社に対する貸付 |
| その他 | 8 | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 17 | |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △485 | 期首残高3,333 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,847 | |



事業ハイライト

- 1.メディアの状況
- 2.業績状況
 - ①広告事業
 - ②その他の事業

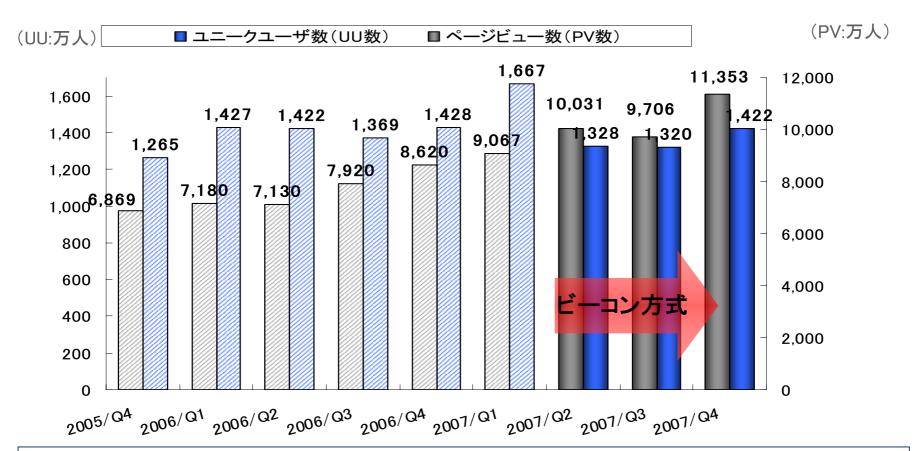
- ・毎日jpへの広告配信に続き、コンテンツ提供を開始。アクセス好調
- ・メディアの領域ごとの最適化を推進。 マネー領域に続きクルマ領域を2/14リニュアル

サークルドサンクスとガイド監修商品を共同企画。認知度向上に努めるとともに、ガイドに新たな活躍の場を提供

【メディア】アクセス数集計



・ページビュー(PV)、ユニークユーザ共に着実に増加。PVは過去最高の1.1億PV



ビーコン方式では、従来のリクエスト方式ではカウントされなかった「戻る」ボタンとキャッシュのカウントが可能となり、PVの測定精度が向上する結果、上昇する傾向が予想されております。一方、ビーコン方式では計測の対象となるブラウザ(ソフトウェア)が JavaScript対応のものに限られます。そのため、JavaScript未対応のブラウザ(ユーザ設定状況、一部の携帯電話)やダウンロード ソフトなどはカウントされませんので、ユニークユーザ数は減少する傾向が予想されます。

【メディア】専門家数推移



・専門家数は前Q比42人増加の1,608人となった



2005/Q4 2006/Q1 2006/Q2 2006/Q3 2006/Q4 2007/Q1 2007/Q2 2007/Q3 2007/Q4 ※AAFSのIFA=オールアバウトフィナンシャルサービスに登録する独立系FP(Independent Financial Adviser)

合計人数は重複除きの人数となっております。

【メディア】Quality Media Alliance -毎日jpとの取組み AllAbout



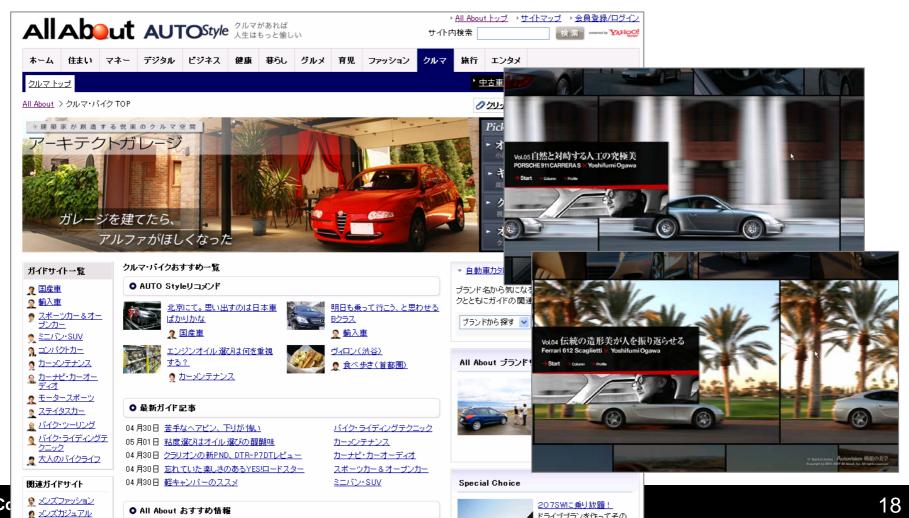
Quality Media Allianceの一環として毎日jp内に、ガイドによる専門記事の提供を 開始。



【メディア】領域最適化の取組み-クルマ領域

All About

•10月1日、クルマチャネル〈http://autos.allabout.co.jp/〉をリニュアル。クルマ情報とライフスタイル提案をミックスしたAll Aboutならではのメディアとしてスタート



【メディア】専門家アセットを活用したPRへの取組み

All About

・ガイド監修商品を共同企画し、サークルKサンクステンポにて販売 認知度向上とともに、ガイドに対しても新たな収益機会を提供



ガイドが商品監修



認知度向上

ガイドへの機会提供

19

【インターネット広告事業】第4四半期主なトピック

All About

・インターネット広告売上は前年を下回る中、主力である編集型広告売上は対前年101%の506百万円

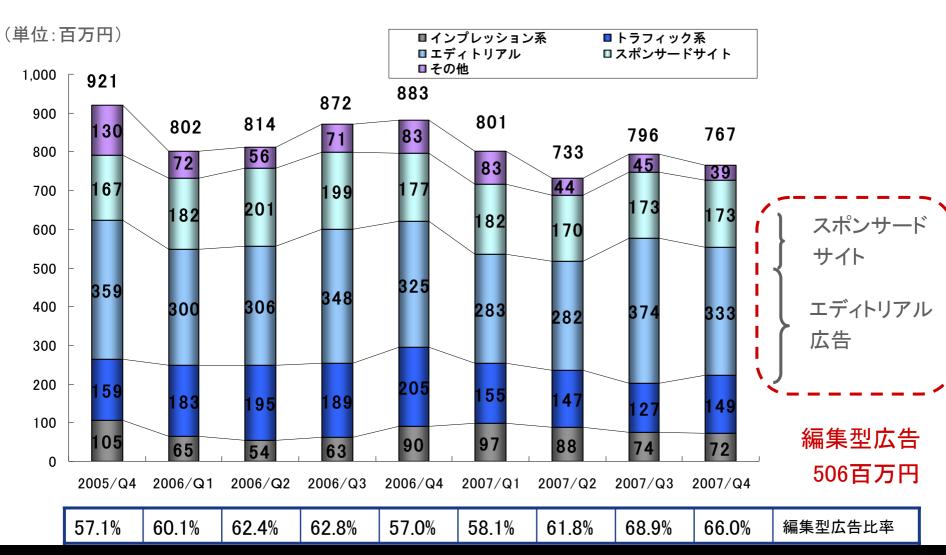
・編集型広告の中では、2006下期に立ち上げた 新ライフスタイルメディアの売上が好調

•引き続き編集型広告市場拡大に向けた活動を推進

【インターネット広告事業】カテゴリー別売上高推移



・ネット広告売上が落ち込む中、主力である編集型広告は前年比101%となった



【インターネット広告】ライフスタイルメディア売上好調



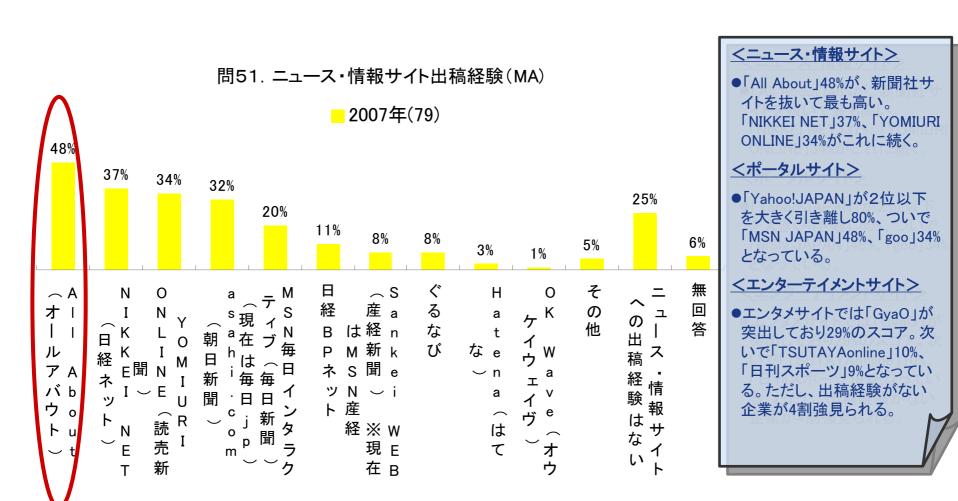
・webマガジンForシリーズに加え、2006下期に立ち上げた4誌が収益貢献を開始し、ライフスタイルメディアの売上が前年同期比145.1%となった



【インターネット広告】編集型広告市場



・web広告研究会の調査によると、情報サイト出稿経験でAll AboutがNO.1であった



出典:web広告研究会 07年度インターネットと広告メディアに関する調査(2008年4月)

【そのほかの事業】第4四半期主なトピック



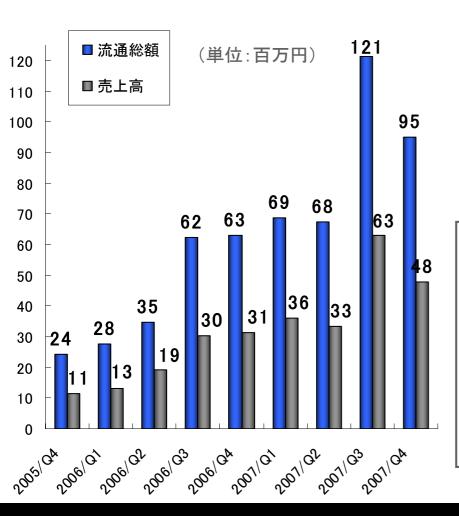
・ショッピング事業とプロファイル事業は、両事業 とも順調に拡大し、下期での黒字構造構築を達成

・第3四半期より連結対象となったKI&Company社のzino&@zino事業については、2007年度末での事業撤退を決定

【そのほかの事業】ショッピング事業の概況



・需要期であるQ3からは数字は下がったが、集客、会員数などが前年同期比で 伸長し、下期で黒字化構造を達成した





・品揃え 5.982sku(前年同期比149%)

・つくり手数 369名

•取引販売会社数 397社

集客数(UU数) 61,0921uu(前年同期比176%)

-会員数 52.280人(前年同期比151%)

•受注単価 1万円

※上記数値のうち受注単価は概数であります。

【そのほかの事業】プロファイル事業の概況



・出展者は731名に伸ばし、ユニークユーザ数、問い合わせ数とも順調に伸長し、

下期での黒字構造を達成

(単位:百万円)

731 7<mark>6</mark>7 売上高 出展専門家数 7 UZJ -50



■ビジネスジャンルに<u>IT支援</u>関

【そのほかの事業】KI&Company社事業撤退について All About

当初の狙い

雑誌広告とネット広告の融合

優良コンテンツの取り込み

ラグジュアリマーケット進出

成果

All Aboutとの

パッケージ商品化

zino &@zinoをリニュアル

コスト大幅削減

来期収益化の布石

メンズファッション誌市場が想定以上に冷え込み、収益化の タイミングが後ろ倒しになる見込みとなったため、撤退を判断

【中期戦略】戦略のフォーカス



分野

フォーカス

メディア

広告ビジネス

専門家を活用した周辺ビジネス

- ・専門家情報に加え、企業・消費者発信情報の取込み
- セグメントごとに最適化されたメディア展開
- ・その集合体としてこだわり消費No.1メディアの実現
- ・インターネット広告事業の成長力奪回へ向けて 領域一気通貫体制での事業推進
- あるじゃんを始めとして、情報誌などとの クロスマーケティング展開
- •モバイル広告分野への展開
- 専門家5,000人体制へ
- ・ショッピング事業、プロファイル事業の収益化
- 健康領域など様々な専門家ビジネスの検討

フォーカス

- ・企業・消費者発信情報の取込み
- セグメントごとに最適メディア展開
- ・集合体としてこだわり消費No.1
- ・領域一気通貫体制での推進
- クロスマーケティング展開
- モバイル進出

- 専門家5,000人体制へ

- •ショッピング・プロファイルの収益化
- 様々な専門家ビジネスの検討

進捗

- •領域ごとメディアリニュアル実施し PV•UUとも伸長
- QMAを推進、メディア&収益拡大
- ・金融、住まいを事業部化して推進
- ・マネー誌"あるじゃん"を取得
- •12月All Aboutモバイル開始
- ・3末で1,608人に
- ・両事業とも下期で黒字構造を達成
- -金融分野で挑戦中(AAFS)

・売上高100億円の達成を当初計画の08年度から 後ろ倒しに

- 編集型広告市場の立ち上がりが見立てより 遅れているが、戦略の骨格は変わらない
- ・中期計画の具体策については、現在策定中であり、7月頃の発表を予定

【業績予想】2008年度連結業績予想



(単位:百万円)

| | 2007年度通期 連結実績 | 2008年度通期 連結業績予想 | 2008年度中間期 連結業績予想 |
|------|------------------|--------------------|---------------------|
| 売上高 | 4,674 | 4,500 | 2,010 |
| 営業利益 | 71 | 100 | △80 |
| 経常利益 | 84 | 100 | △80 |

All About

個人を豊かに、社会を元気に。

